

- ・人口：143,316人（令和元年10月1日現在） 面積：138.37㎢
- ・平成18年1月1日に合併（深谷市・岡部町・川本町・花園町）

「ガバメントクラウドファンディングについて」

◆ガバメントクラウドファンディングとは

・自治体が行うクラウドファンディングで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組み。寄附する方の意思を反映することができ、自治体への寄附として、深谷市民の所得税や住民税の還付・控除の対象にもなる。

◆取組の背景、目的について

・深谷市が最初を実施したのは国の重要文化財である旧煉瓦製造施設「ホフマン輪窯」の保存修理のための費用の一部を募集した。「東京駅の煉瓦を焼いたホフマン輪窯を後世に残したい！」という団体や個人が多い傾向にあったこと、文化財の整備に関する経費が大きく財政を圧迫していることもあり、新たな財源確保策の一つの手法として輪窯がG C Fの取り組みの先例となった。

★「東京駅の煉瓦を焼いたホフマン輪窯を後世に残したい！」★

- ・実施期間）平成29年3月2日～平成29年3月31日（30日間）
- ・目標額）300万円 ・達成額）632万円
- ・使い道）平成28年度に実施した保存修理を行うための調査工事費に寄附金を充当した。
- ・返礼品）通常のふるさと納税の返礼品の中から選択し渡してきた。

★ふっかちゃん子ども福祉基金「夢の架けはし」プロジェクト★

- ・実施期間）平成30年3月23日～平成30年5月22日（30日間）
- ・目標額）200万円 ・達成額）221万6250円
- ・使い道）ふっかちゃん子ども福祉基金に積み立て、難聴児の補聴器購入補助や障がいスポーツに必要な補装具の補助など、毎年ふっかちゃん子ども福祉事業の利用者への補助に活用している。
- ・返礼品）ふるさと納税の通常のお礼品ではなく、地元の障がい福祉施設で作成される「記念品」とした。記念品は寄附額に対して些少な品物のため、深谷市民も寄附できることとした。

◆今後の取組、課題等について

・2つのG C Fは、実施方法や目的も異なり、試行的なものだったため、財源確保策や、共感される実施方法として全庁的に定着させるためには、どの課も活用しやすい仕組みづくりの構築が必要。

・制度化する場合、G C Fの対象事業の考え方について統一的な基準を設け、共通認識を図る必要がある。また、深谷市としてG C Fをどのように活用していくのかという定義が今後の課題である。

◆所感

・納税する、寄附をする市民等にとって、税金が何にどう使われたかが一番関心が高い。返礼品目的となっているふるさと納税と違い、目的がはっきりし「自治体の課題解決に自分の意思を反映することができる」G C Fは「寄附金が目的通りに使われたのか」など税金の使い方を意識して行政を見ていくことにもつながる。さらに寄附を通して自治体の事業へ、より興味・関心が高まるなど深谷市に関わる方の大きな意識改革にもつながるのではないかと感じた。また、寄附に添えられる応援メッセージも心が温まり、応援した方の寄附への思いも伝わる取り組みとなっていた。寄附額は達成できる現実的な額に設定し、短期間としているなどの工夫も見られた。

・深谷市は福祉事業と連携し、お礼品の投票などを行うなど研究している点も成果につながったのではないかと感じた。

・取り組み内容によっては応援したい団体や個人の声かけによって、さらに広がる良い相乗効果が期待されるのではないかと感じた。